

特集

Weave

～男女共同参画社会の実現に向けて～

男女共同参画社会の実現に向けては、地域社会の活動の中で、男女がともに責任を分担し合いながら支え合うことが必要です。特に、防犯・防災分野では、男性と女性それぞれの視点を反映していくことが重要であるため、女性の積極的な参画が求められています。

今回は、消防団員として活動されている原山栄子さんにお話を伺いました。

問合せ 企画政策課企画政策担当内 314



インタビュー

地域を守る女性のチカラ ～地域に密着した消防団活動～

羽村市消防団本部 班長：原山栄子さん

消防団に入団したきっかけは何だつたのですか？

平成16年に双葉町松原町内会の町内

会長に誘われて、当時行っていた女性防災コンクールに出場したことがあつかけです。その後、消防団に入らなかとか声をかけてもらつて、やつてみたいと思つて入団しました。

消防活動に興味があつたのですか？

正直に言うと、興味はありませんでしたね。女性防災コンクールに誘われたときも、訓練もあるし、順位も決まるし、プレッシャーを感じてしまい気が重かつたので最初は断りました。でも、町内会長と話しているうちに、とりあえずやってみようということになつたんです。

5人1組のチームで練習を始めたのですが、消防署の方が熱心に教えてくれて、チームが団結していきました。防災訓練には毎年参加していましたが、正しい消火方法や動き方などを学ぶにつれ、練習にも力が入つていきました。大人になつてから、何かに真剣に取り組むということがなかつたので、すごく新鮮で、受け身だったものが主体的な気持ちに変わつていつて、すべてが楽しくなつたんです。

家族や周りの方からの反応はどうでしたか？

コンクール当時は、まだ小さい子どもがいたので、母に預けて訓練に行きました。子どもたちには「なんで行つちやうの」って泣かれましたし、夫からも、「なんでそんなことするの？」と言われました。

訓練は夜で、仕事から帰つて、急いで夕食の支度をして出かけるんです。「行かなきゃいけない！」という使命感があり、苦ではなかつたですね。消防団にも入団して、今では家族も「いつてらつしやい」という感じです。私は一度決めたらがむしゃらに突き進むタイプなので、家族は止めても無駄だと思つているんじやないかな。

でも、子どもが少し大きくなつて、消防士になりたいと言い出した時期があつたんです。うれしかつたですね。子どもが小さいころ、私の普段の活動の様子などをよく話して聞かせていて、私のまねをしていましたよ。

消防団に入つて、変わったことはありますか？

知識を得たことで、普段の生活の中でも気付くことは多いですね。活動前は、消火栓の設置場所や担架にも使えるガードレールなどは、ほとんど目に留まりませんでした。知識を得たことにより、子どもや地域の方にも教えてあげられ、日ごろから意識することで心の準備もできるため、いざという時に役立つと思います。

原山さんにとっての消防団活動の意義とは？

年齢や性別に関係なく、日常生活では知り合うことがない人と仲間になれ、消防団の活動だけでなく、日ごろからコミュニケーションをとったり、

防災に関する知識を得たこと、いざという時に自分が地域の人や誰かの助けになれると思ったこと、それから一番の意義は、仲間を得たことだと思いま

てみると楽しいし、みんなに行こうよって声をかけています。男性とか女性とか関係なく、みんな参加すればいいのかなって思いますね。

時にはみんなでお出かけしたり、良い仲間と居心地の良い場を与えてもらい、消防団に誘つていただいたことに感謝しているくらいですね。

「思つてているより大変じやなくて、やつてみると楽しいよ」ということをたくさん的人に知つてもらいたいし、それを皆さんに知つていただくことも私の使命だと思います。

皆さんも私たちと一緒に消防団活動に取り組みましょう！



▲男性団員とともに応急救護訓練

女性消防団員募集！

～地域の安全・安心を守るために 一緒に活動しませんか～

消防団員は、仕事のかたわら「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広く防災活動の中心的な役割を担っています。

女性団員は、主に応急救護指導、市民・事業所などへの火災予防普及活動などを行っています。

主な活動内容

- 応急救護指導 応急手当普及員の資格を取得し、市民などへ救命講習の指導を行います。
- 広報活動 年1回消防団だよりの発行などを通じ、火災予防を呼びかけます。
- 行事の参加 防災訓練・水防訓練・出初式など各種行事に参加します。

入団資格

- 羽村市在住の18歳以上の方
 - 原則として4年以上消防団活動のできる方
- 申込み・問合せ 羽村市消防団事務局（防災安全課防災係）☎ 555-1111 ☎ 207



▲消防団の仲間と